

株式会社ニットープロセス

多彩な手法を駆使して 工業製品や部品に印刷

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



レーザーマーキングにより金属製品を発色できる

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
レーザーマーキング、パット印刷、シルク印刷などによる特殊印刷加工	商社、自動車部品メーカー、医療機器メーカー、アウトドアメーカー	プラスチック成形品や金属加工品などへの印刷加工

業務内容 円筒形の水道バルブ 側面に目盛り印刷

ニットープロセスは、工業製品本体や部品に文字やロゴマークなどを印刷する専門業者。様々な手法や印刷機を駆使して鉄やアルミ、ステンレスなどの金属や樹脂、フィルム、ガラス、木材など、素材を問わず、その表面に印刷を施す。昭和53年、金属プレス品にシルクスクリーン印刷を行う業者として創業。回転シルク印刷により、円筒形の水道バルブの側面に360度にわたって目盛りを印刷する仕事は、30年以上継続して受注。高い実績をあげている。その後、大手家電メーカーからの要請を受け、曲面や凹凸面の印刷が可能なパット印刷もスタート。さらにはレーザーマーキング機も導入し、業務の幅を広げている。

強み 治具や印刷機のカスタム パーツも自社で製作

シルクスクリーン印刷では自動車のエンブレムや空調機の操作パネルを、パット印刷では自転車のハンドルや医療用検査キットなどを加飾する。製版設備を保有し、製版から治具製作、印刷、検査、発送までを社内で一貫して行えるのが強みとなっている。併せて、印刷対象

を固定する治工具や印刷機のカスタムパーツも独自製作する。工場には物流倉庫も併設しており、印刷後の部品の組立や保管も請け負う。長年にわたり大手家電メーカーなどから指導を仰ぎつつ構築した品質管理手法は高く評価されており、「顧客からの信頼につながっている」と、川村正隆社長は胸を張る。

環境配慮 4種類の特性の異なる レーザーマーキング機で提案

レーザーマーキングは製品や部品表面にレーザーを照射し、印字や加工を行う手法。ピンポイントで照射するため高精度の印字が可能。表面を削ったり変色させたりして素材に直接加飾するため、文字などが消えにくいという利点もある。また、ごみの排出量が少なく、塗料やインキを固着させるための乾燥炉も不要。電力使用量が少なく、環境配慮という点でも優位性がある。ただ、印刷や加飾手法はそれぞれに一長一短があるため、顧客ニーズに即した提案が求められる。川村社長は「営業担当者には印刷現場での豊富な作業経験があり、打合せ段階からより良いものづくりのための提案ができる」と自社の強みをこう付け加える。

社長あいさつ



代表取締役社長
川村 正隆さん

私たちの使命は、お客様の“諦めていた物”を“あってよかった物”へと変換し、多くの人の笑顔を支えていくことです。創業者の“できあがった製品こそが最高の営業マン”という想いを受け継ぎ、真心を込めて加工した製品をお客様にお届けしたいと日々努めています。

主な保有設備

- レーザーマーキング機 MD-X1520ほかキーエンス製ほか 8台
- パット印刷機 T-20EAほかナビタスマシナリー製 15台
- シルクスクリーン印刷機 FA-1ほかラナス工業製ほか 15台
- 回転シルク印刷機 SK350新栄工業製ほか 3台
- コロナ放電器ライン POLY DYNE 13DT製 1ライン



住 所 / 〒581-0052
八尾市
竹濑2-97
TEL / 06-6706-1181
FAX / 06-6708-1307
創 業 / 昭和53年4月
設 立 / 平成27年1月
資本金 / 300万円
従業員 / 13名



4種類のレーザーマーキング機で各材質に対応する



インクジェット印刷のような仕上りをパット印刷で再現



<https://www.nitto-process.co.jp/>